

研究課題：

学校・保育等の教職員等に対するジアゼパム点鼻液に関するアンケート調査

1. 研究の目的

けいれん重積状態に対して、2025年12月よりジアゼパム点鼻液（商品名スピジア点鼻液）が本邦で使用できるようになりました。現時点では本薬剤は保護者（家族）又はそれに代わる適切な者に投与が限られています。病院前治療であるミダゾラム口腔用液（商品名：ブコラム口腔用液）も2020年12月に本邦で発売されたときは保護者（家族）又はそれに代わる適切な者に投与が限定されていましたが、2022年7月から医師の文書指示のもと学校・保育等の教職員等も使用できるようになりました。将来的にもしかしたらジアゼパム点鼻液も学校・保育等の教職員等が使用できる可能性があります。

そこで、埼玉県内の学校・保育等の教職員等を対象に、本剤および薬理作用に関する認知度、将来的に本剤を使用することになった場合の不安や期待、本剤使用に際して医療者への要望についてアンケート調査を行います。本調査により、現時点で学校・保育等の教職員等が抱える不安や課題とその解決方法を見出すことを目的としています。

2. 研究の方法

埼玉県内の学校・保育の教職員を対象に、本剤の認知度、本剤使用にあたっての不安、本剤使用に際して医療者への要望に関する無記名のアンケート調査を行います。Google Formを用いて、オンラインでの無記名回答になりますがメールアドレスは収集いたしません。

3. 研究期間

倫理委員会承認後から2027年9月30日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

ご回答いただいた内容をまとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌に公表されることがあります。Google Formを用いたオンラインでの無記名回答になり、かつメールアドレスは収集いたしませんので、回答された方は一切同定されず、個人情報も一切分かりません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：神経科 科長 菊池健二郎

研究分担者：神経科 医長 松浦隆樹

神経科 医長 平田佑子

神経科 医長 代田惇朗

神経科 医長 竹内博一

神経科 医員 堀田悠人

神経科 医員 大庭梓

7. お問い合わせ先の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）